

清流

変わり始めました

「変えていこう やればできる」

これは、本年度の「清流第一号」でお伝えしました、本年度のスローガンです。

新年度が始まって一ヶ月ほど経ちましたが、甲佐小学校は確実に変わり始めました。それを手応えとして一番感じたのは、先日、放課後の教室を見て回った時でした。その日は、教頭先生が出張で、私が校舎の戸締まりをしていました。すべての教室の窓等が施錠されているかを確認するのですが、その時に当然、教室内の机やイスの整理整頓の状況も目に入ります。

なんと、その日はすべての教室で、すべてのイスは机の中に入り、机の配置もすべてきちっと揃っていたのです。今までは、揃っている教室はあっても、すべての教室がきちっと揃っているということはありませんでした。下校後の教室が整理整頓されているということは、当然のことと感じられるかもしれませんが、全教室が整頓できているという状態は、簡単なようではなかなかできることではないのです。教師の、係活動等を活用した意図的な指導により、子どもたちが、しっかりと意識して主体的に行動できるようになっていないとそうはならないのです。教師が最後に整頓するような状況があるのであれば、全教室整頓できているという状況はうまれないのです。

この場面以外にも、毎日の授業の様子も、確実に全体的に良くなってきました。トイレのスリッパも、明らかに並んでいることが多くなりました。校長室を掃除してくれる子どもたちは、時間いっぱい膝をついて、しっかりと床を拭いてくれています。

「あたりまえのことを あたりまえにできる」場面が多くなってきたのです。

4年生の先週の学級通信には下のような記事がありました。題名は「とことん教室日記」です。

4年生では頑張ったら「とことんボール」を瓶に入れるシステムです。頑張りが目に見えるようにしているのです。全部たまったら楽しいことをしようと話しています。

算数の時間、みんなとっても集中し、まとめの問題をしたり、進んでプリントをしたりしていました。「すごい！さすが！」と、とことんボールを瓶の中にたくさん入れて、みごと達成！みんなでガッツポーズをし、大喜びしました。

ところが、その後の授業で、あまりにも私語が多かったので「残念！これでは4年生とは言えません！（怒）」と、貯まっていたとことんボールをざっと出しました。子どもたちは、私の大声と、いきなりとことんボールが減ってしまった様子を見て、啞然としていました。その後も増えたり減ったりしながら、今、再度とことんボールが瓶いっぱいになろうとしています。（今度は大丈夫でしょうか??）来週には貯まるでしょうか？まだまだ落ち着きのない4年生です。子どもたちのやる気を引き出すため、いろいろな取り組みをしています。頑張れ4年生！

甲佐小が変わり始めたのは、4年生のこの記事にあるような、各教師の様々な取り組みや方向性を揃えた本気の指導の成果なのだろうと思います。この時期に成果があらわれてきたことは、本当に嬉しいことです。今後も、少しずつでいいので、確実な向上を目指していきたいと思っています。

ちなみに、4年生のとことんボールは、9日、水曜日にみごと瓶いっぱいになり、子どもたちは、ご褒美として、みんなでドッジボールを楽しんでいました。4年生のみなさん、頑張りましたね。